

狛江市議会議員 (自由民主党・明政クラブ)

しの浩司

市政報告



◆ 経 歴 ◆

昭和40年(1965年)4月6日狛江市生まれ
 狛江第三小学校、狛江第二中学校卒業
 國學院大學久我山高等学校卒業
 國學院大學法学部卒業
 平成27年4月 狛江市議会議員選挙初当選

◆ 現 在 ◆

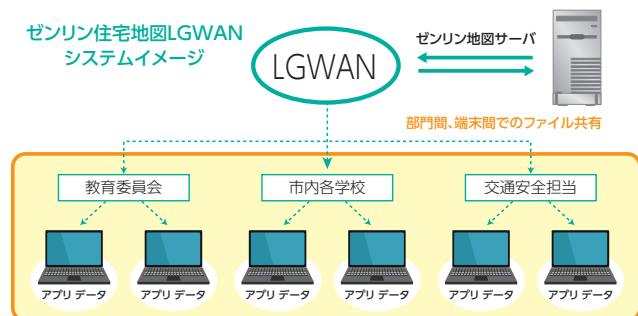
狛江市議会議員 建設環境常任委員会委員
 狛江第三小学校避難所運営協議会 副本部長
 狛江市青少年第二育成委員会 委員
 自由民主党狛江総支部 事務局長
 狛江3小フットボールクラブ 代表
 いずみ会 役員(会計担当)

◆ これまでの主な活動 ◆

狛江市立狛江第三小学校PTA会長
 狛江市保育所父母の会連絡協議会 会長
 狛江すくすくコンサート実行委員会 実行委員長
 狛江市男女共同参画フォーラム実行委員会 委員長
 狛江青年会議所 第25代理事長
 狛江市公立学校運営連絡協議会 委員
 狛江市青少年問題協議会小委員会 委員
 狛江市市民福祉推進委員会 委員

都内初! クラウド型住宅地図を活用した通学路の安全対策!

- ◎昨年5月に新潟市で、小学2年生の女の子が巻き込まれる痛ましい事件が発生したことから、狛江市内の児童生徒がこのような事件に巻き込まれないよう、通学路の安全管理のためにデジタル地図の必要性を訴え、これの導入を強く要望しました。
- ◎これを受け平成30年度狛江市一般会計補正予算(第3号)で必要な経費が認められ、平成29年9月から災害協定を締結している㈱ゼンリンのクラウド型住宅地図サービス「ゼンリン住宅地図LGWAN」が市内の各学校、及び教育委員会、防災防犯担当・道路管理担当等に導入されました！
- ◎地図上には各小中学校の児童生徒一人ひとりの通学経路、これまでの交通安全上の危険箇所に加え、児童生徒が犯罪に巻き込まれる可能性が高いエリアや不審者情報、こどもかけこみ110番の所在等が入力され、共通のサーバー上で管理するため、関係各部署並びに小中学校が危険箇所や対応状況等の情報を同時に共有できるようになり、さらなる安全確保に繋がります。
- ◎ただし危険箇所等を把握をして安心するのではなく、児童生徒に対しては、なぜその箇所が危険なのかを指導し、子供が自分で事故の起きやすい場所、犯罪者に狙われやすい場所を見分け、事件事故に巻き込まれない力をつけるような仕組みづくりをしていただきたいと要望しました。
- ◎これについては行政、学校任せではなく、家庭はもちろんのこと、地域全体のご協力をお願いいたします。
- ◎さらにこのデジタル地図の可能性を訴えたところ、防災・防犯においても災害時の避難行動要支援者、浸水区域や火災発生現場、犯罪頻発現場等の情報を同一の地図上で管理することで、より安心安全なまちづくりに活用、また汎用性が高いため、様々な用途に使用することで業務改善や市民サービスの向上にも繋がると回答をいただきました。



※ LGWAN【Local Government Wide Area Network】総合行政ネットワーク
 地方公共団体情報システム機構(J-LIS)が運営する、都道府県や市区町村などの地方自治体のコンピュータネットワークを相互接続した行政専用ネットワークで、中央省庁間の広域ネットワークである政府共通ネットワーク(霞ヶ関WAN)とも相互接続されている。

市政に関するご意見・ご要望がありましたらぜひお聞かせください。

(しの浩司後援会事務所) 〒201-0014 東京都狛江市東和泉2-18-1
 TEL.090-3909-2747 FAX.03-4496-4803 E-mail ko-g@tokyo.zaq.jp

狛江市立小学校用務業務及び学校設備管理業務委託

- ◎「狛江市(第5次)行財政改革推進計画(定員適正化編)」において、技能労務職である「学校用務」については、各校に学校用務職員が常駐する形態ではなく、基本的に支援班によるローテーション対応をするとのことでした。
- ◎これについては平成28年第3回定例会一般質問において「清掃、樹木剪定、備品等の手入れ・補修・修繕など、学校用務に係る業務は常に発生するものであり、また突発的な事態等が発生する可能性もあるので、本来の学校業務に支障をきたさないように常駐を視野に入れて検討していただきたい」旨を要望しました。
- ◎その結果、学校業務に支障を生じさせないことを前提に、学校側や用務職員と協議をしていただき、中学校4校には学校用務職であった正規職員及び再任用職員を各校に1名ずつ配置、小学校6校についても、嘱託職員を各校1名配置し、それに加え、統合された学校用務職と一般作業職が、定期的な巡回により業務を行っていただけることを、平成29年第1回定例会一般質問において確認しました。
- ◎そして平成31年度からは将来的にも学校への負担等が生じない体制づくり、学校における働き方改革…教職員の業務負担軽減に向けた取り組みをより一層進めるために、狛江市立小学校用務業務及び学校設備管理業務が民間委託されることとなりました。
- ◎これにより業務責任者を1名、フルタイム作業員を1名、半日勤務作業員を1名、計2.5名を各校に配置、これに加え6校を束ねる形で巡回指導員が配置されることとなり、教職員の負担減により本来の学校業務の充実が期待されます。
- ◎さらに中学校においても民間委託されるよう訴えてまいります。



水道道路拡幅整備、早期実現へ向けて! 事業概要及び測量説明会が開催されました

- ◎水道道路の歩道は縁石やガードレールの設置により、有効幅員が1mにも満たない状況であり、人間一人がやっと歩ける程度しかない一方、車道は双方向に3mですれ違いができるよう確保されています。
- ◎しかし自転車が走行できるスペースは全くないことから、自動車を優先し、歩行者・自転車の安全には全く配慮されていない道路となっており、過去には死亡事故なども発生しています。
- ◎平成28年3月、都市計画道路の整備方針(第4次事業化計画)が策定され、調布都市計画道路3・4・16号線(電研前通り)と水道道路が優先整備路線として指定されました。
- ◎これにより、都市計画道路の全体の幅員は16mとなっており、車道と歩道の幅員は未定ですが、歩道の幅員は約3.5m程度で有効幅員は最低でも2m以上が確保されると考えられます。
- ◎しかしながら水道道路の事業が動き出すような情報がなかったため、自民党・明政クラブを代表して平成30年第4回定例会一般質問において「早期の水道道路事業概要説明会開催の要請」「その後の事業認可取得に向けたさらなる努力」「事務的な対応だけではなく、この事業の積極的な推進」を強く要望し、松原市長から「市としても都に対して最大限の協力をすると共に、市長としても関係機関にしっかりと要請をして」との答弁をいただきました。
- ◎これを受け、先日(3/7)狛江三小体育館にて水道道路の事業概要及び測量説明会が行われ、今後概ね2年で現況測量・用地測量、平成32年度に事業認可取得予定であると、東京都より今後のスケジュール等の説明がありました。
- ◎いよいよ動き出した水道道路の拡幅事業。松原市長と共に水道道路の一刻も早い整備推進に向け、市民の皆様への丁寧な説明を心がけ、必要な地元の調整や都への要請など全面的に協力してまいりますので、ご協力をお願いいたします。

